

玉川大学公募制推薦入学試験（適性検査方式） 出題の意図等

【1】

文法事項や表現を知識として暗記しているかではなく、文や会話全体の流れ・意味・構造を踏まえて適切に理解・判断できるかという思考力・言語力を測ることを目的としている。具体的には、関係代名詞や前置詞、口語・慣用表現について、文脈に基づく理解力、さらに話し手の主張や理由を的確に把握し、要約・言い換えとして捉える力を問う。

【2】

関数・図形・数列・方程式などに関する基本概念の理解を前提に、各分野の基本的な知識を単独で用いるのではなく、条件や性質を適切に組み合わせ、図や数の構造を捉えながら、手順を論理的に処理する思考力・計算力を測ることを目的としている。

【3】

語句の拾い読みや知識による推測ではなく、文脈と文章全体の構造を踏まえて意味・因果関係・筆者の主張を正確に読み取り、要点を適切に判断・言い換えできる総合的な読解力・言語力を測ることを目的としている。